

梅雨が明けるまでは、気温・湿度ともに高く、また天気が変わりやすいこの時期は、最も体調を崩しやすい時期もあります。いつも以上に、生活リズムや食事の内容に気を配り、体調が悪い時は、無理をせず、早めに休養するようにしましょう。

いよいよ今月から・・・子どもたちが心待ちにしているプール遊びや水遊びが始まります！！暑さに負けず体を思いっきり動かして夏の遊びを楽しみたいと思います。

6月の感染症

感染性胃腸炎(嘔吐・下痢)…2名
溶連菌感染症… 2名
アデノウイルス… 1名
突発性発疹症… 2名

気温差により、咳・鼻水・発熱など体調を崩しているお子さんが多いです。

6/6 虫歯予防集会

井上歯科さんの歯科衛生士さんにおいでいただき、正しいブラッシング方法を教えていただきました。ココアクッキーを食べて、歯にどのくらい付着するのかを鏡で確認します。ブラッシングを2回するとようやく奥歯に詰まっていたクッキーがとれました。

まだ仕上げ磨きが必要な年齢です。ご家庭でも引き続きよろしくお願いします。



7月の保健行事

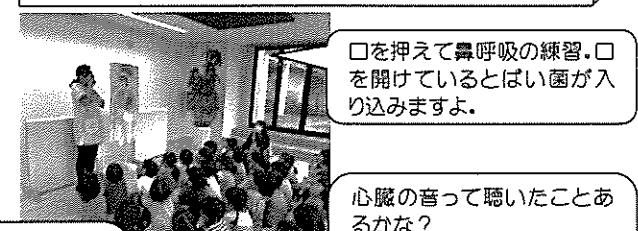
*身体測定週
1~5日
*保健指導(トイレ)
17日(水) つき
18日(木) はな
19日(金) ことり

*0歳児健診
9日(火) 14:30~

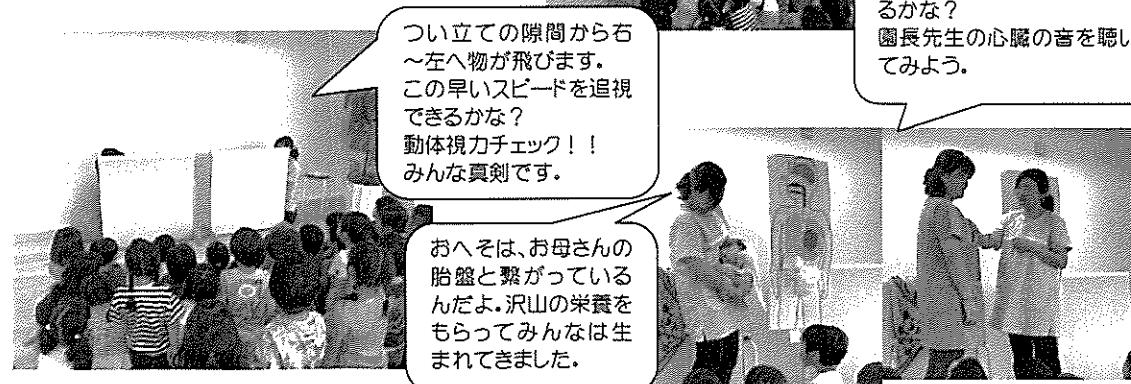
6/24 体の話

「自分の体の動きに興味を持ち、大切にする」を目的に少し難しい話ですが4・5歳児対象に実施しました。臓器の動きや、もし耳が聞こえなかったら？足が動かなかつたら？と質問し、みんなにも考えてもらいました。体が元気でいるための5つの約束もしました。

①早く寝る②早く起きる③朝ごはんをしっかり食べる
④毎日うんちをする⑤よく遊んで体を動かす
今月からプールが始まりますのでご家庭でもサポートをお願いします。



心臓の音って聞いたことあるかな？
園長先生の心臓の音を聞いてみよう。



子どもとスマホ



◎タブレットで動画を毎日観ていたり、休みの日には、DVDを長時間観ている子どもが増えています。保健指導の翌日に、「先生、昨日はユ〇チューブを1回も観なかつたよ。」と報告してくれたはな組のKちゃん。体を大切にしようという気持ちが芽生えてきたところです。ぜひ、この機会にご家族でタブレット・スマートフォンやゲームなどの使い方を話し合ってみましょう。

*スマホ子守りの恐ろしさ

「スマホ子守り」と呼ばれるものがあります。赤ちゃんがぐずったり、泣いたりする時にスマホを渡すとパッと静かになります。しかし、スマホ子守りを繰り返していると、そのうち赤ちゃんは、お母さんのスマホを欲しがるようになります。早く私にやらせて！と手を伸ばすようになります。そして渡すと静かになる。取り上げると落ち着かない。そういう変化がごく短時間に起こるのです。赤ちゃんに限らず、子どもたちでもスマホやゲームが習慣化すると脳内のドーパミン神経が変化していきます。

*脳の変化

ニコチン、アルコール、薬物、ゲームやスマートフォンの依存症で見られる脳の変化は3つあります。

①ドーパミン神経の機能低下

ドーパミンとは、興味を持って集中したり、楽しんでいる時に出る脳内物質で、学習にも関係があります。何かへの依存が強くなると、神経が鈍くなりドーパミンが出にくくなります。低下すると多動、学習意欲の下、注意散漫などにつながります。

②前頭前野の機能低下

前頭前野の主な働きは、思考力、人を思いやる、我慢する、集中力です。ゲーム・動画やDVDなどデジタルの作業には前頭前野はほとんど使われず、働きが低下し前頭前野の発達が遅れることがわかっています。コミュニケーション力が低くなり、イライラ、相手の感情を読み取りにくく、人間関係が築きにくくなります。

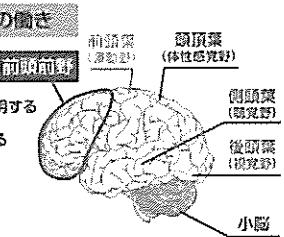
③依存対象に対する止まらない回路の存在

「依存症は、治癒しないが回復はできる。」

例)スマートフォン依存症の人が2日間使用を禁止されたら……という研究があります。やることがなくてイライラ、ウロウロしたり、物に当たるなどの禁断症状が出ました。

スマートフォンは、脳に対しての刺激が多く、それに慣れるもとでより多くの神経系の働きが広くなっているので一度体験すると強い欲求となり、止まらない回路にはまってします。

参考図書 「スマートフォンが学力を破壊する」「〇／〇子どもの思考力を奪うデジタル認知障害」



*大人の責任としてできること

今の子どもたちは以前よりも低年齢からデジタル機器を使うようになっています。スマートフォンやゲームが脳に与える影響は、無視できません。まずは、大人が子どもたちと一緒にいるときは、スマートフォンを遠ざけてください。大人がスマートフォン依存症にならないお手本を示してあげることが子どもたちが正しい道を選ぶ力を持つことにつながるはずです。

- 親子で楽しめる遊び(折り紙・縄跳び・絵本・あやとり・戸外で体を動かすなど)
- スマートフォンやゲームを与えるのをできるだけ遅らせる。
- 使用する時は、タイマーをセットして鳴ったらやめる(1日30分～1時間以内)
- なるべく一緒に観たり、大人がしっかりと管理する。
- 手の届くところに置かない。
- 「みんなが持っているから」という状況を作らない。自分の子どもだけではなく、他の子どもたちもみんな一緒にスマートフォンの危険から守ることができたら理想です。



夏に流行る感染症

*手足口病 *ヘルパンギーナ *プール熱(アデノウイルス) *溶連菌感染症 *とびひ *水いぼ
*はやり目 *とびひ *アタマジラミ